

鍋倉山パウダースキー報告

【山城】北信州関田山脈：鍋倉山

【日程と天気】2019年2月10（日）雪のち曇り

【メンバー】CL 菊池・鶴田・渡辺（俊）・加藤・瀧瀬・会員外3名

【行程】

鍋倉山登山口 温井路上駐車場－鍋倉山－往路を滑走



- ・出発前日の2/9（金）は関東地方で降雪があり、午前中に降り始めた雪が夕方まで続き、一時止んだものの夜中も降り、出発が危ぶまれましたが、幸いにも道路に雪は残らず高速道路の閉鎖もなかったため、予定通りに千葉を4:00出発する事が出来ました。東部湯の丸SAにて栃木組2名と6:45集合時間にも余裕で到着。



3連休の二日目で昨日からの降雪もあり、駐車している車は何台いるだろうかと車中で盛り上がります。到着してみると30台以上の車がすでに雪の壁に沿って駐車していました。登山者に非常に親切な長野県！駐車スペースの雪は綺麗に除雪されています。

ここ鍋倉山は10月に信越トレイルで訪れた場所であり、是非パウダーの季節に入ってみたかった憧れの場所でもあります。ワクワクと共に数日降り続いた新雪の量に不安も入交ながら雪が舞う中のスタートです。



•すでに数パーティーが入山しているので、トレースは明瞭にありラッセルの必要もなくなだらかな平原を快適に進みます。



やがてブナ林の中を徐々に高度をあげながら山頂を目指します。今日もシールアップの姿勢の注意を受けながら登るのですが、意識しないと足元ばかりが気になり、前かがみの姿勢になってしまいます。ストックの長さを調節する事を思い出し、前を見るようにしたらだいぶ改善されたように思います。



(いつ来ても素晴らしい静寂と幻想的なブナ林)

- ・稜線に出てしばらく歩くと山頂らしき所に他パーティーが居ました。準備と休憩をして15分後に出発。



いよいよ激パウの鍋倉山滑走です。 想像以上のパウダーに戸惑います。

諸先輩方は「ヒャホオオオオオオオオ」獣のような雄叫びをあげながら満喫しています。



不慣れな私は上手にコース取りしないと、思わぬコントロール不能になり「転ばないようにすることが大事！」と言われながらも雪の風呂の中にドボンしてしまいます。その度毎にベテランの方々に助けて貰わないと一人では起き上がれず苦戦を強いられました。が、物凄い降雪量に感動し、自然を全身で感じられる幸せに浸りながら山スキーを堪能する事が出来ました。

- ・今夜の宿は馬曲温泉梨の木荘です。途中市内のスーパーでお惣菜等の食材を購入し、到着すると馬曲温泉の温かい湯で全身ほっかほかになり、トンカツ、おでん、ビールにワイン、日本酒と楽しい夕食を楽しみました。



